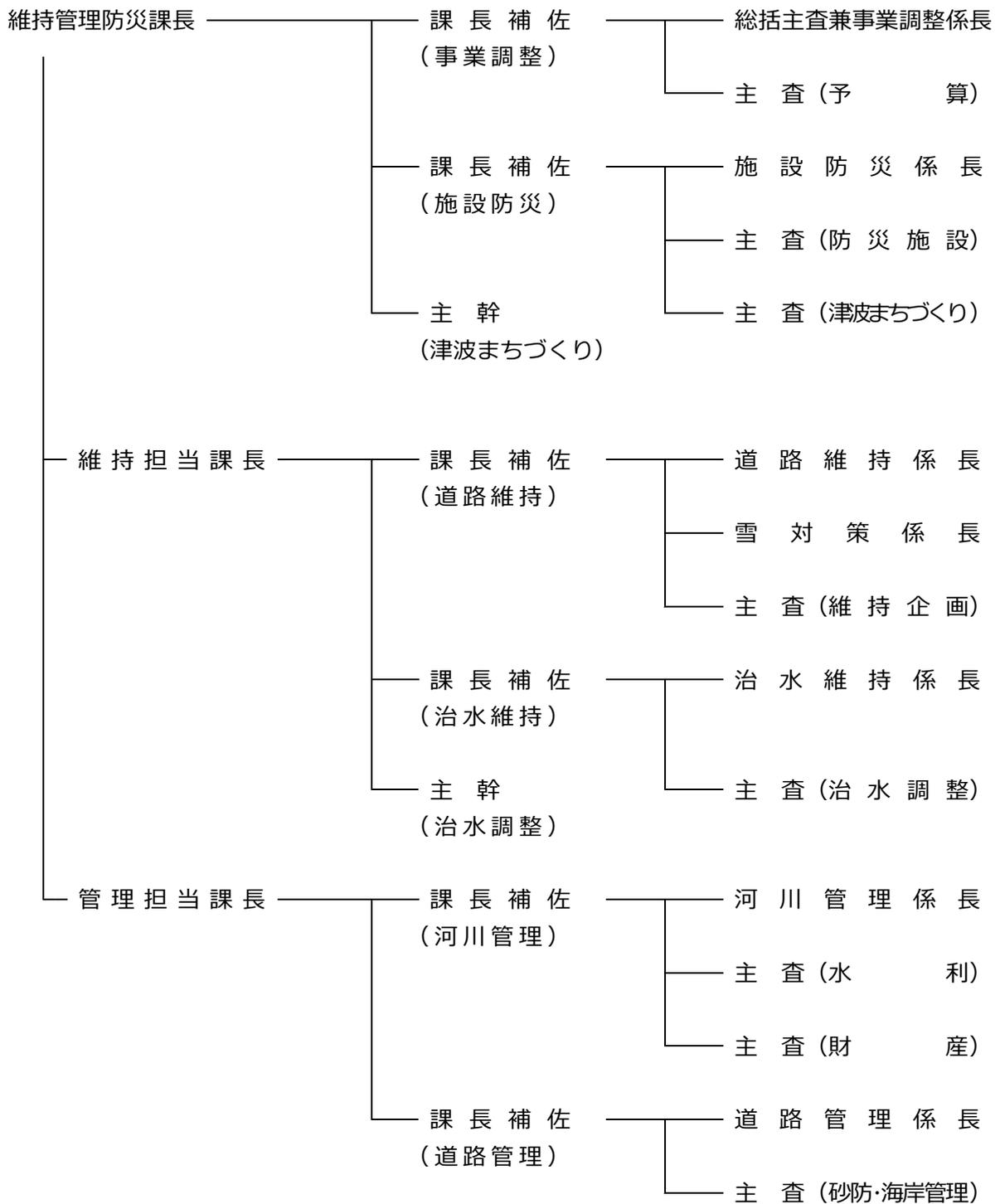


3. 建設政策局 維持管理防災課

◎ 分掌事務

- ・ 公共土木施設に係る防災体制の整備に関すること（他部課の主管に属するものを除く。）。
- ・ 道路、河川等に係る防災施設整備の推進及び市町村施設整備の支援に関すること（他部課の主管に属するものを除く。）。
- ・ 津波防災まちづくりに関すること（他部課の主管に属するものを除く。）。
- ・ 公共土木施設の維持及び管理に関すること（他部課の主管に属するものを除く。）。
- ・ 公有水面の埋め立てに関すること（他部の主管に属するものを除く。）。



◎ 維持管理防災課の施策体系

【課の方針】

安全・安心に対する道民の意識が高まる中、局地的、突発的な豪雨や豪雪、地震といった自然災害リスクの増加・広域化などに対応するための備えの充実が一段と求められている。

また、高度成長期に集中して整備された公共土木施設が更新期を迎えるなど、老朽化が進む中で、適正な維持管理の重要性が増している。

このことから、各地域における防災力の強化や維持管理の柔軟かつ迅速な対応を一体的に取り組むことにより、道民の安全・安心な暮らしに寄与していく。



施策名

公共土木施設の整備維持管理更新の推進

概要

投資余力が減少する中で、既存ストックを有効活用するため、社会資本のメンテナンスサイクルの取組を通じて、橋梁など道路更新も含め適時適切な維持管理に努めることにより、施設の長寿命化や更新費用の平準化を図る。

また、住民と行政の協働によるまちづくりを進めるなど、効率的・効果的な維持管理を進める。

施策名

大規模自然災害対策の推進

概要

公共土木・建築施設を自然災害等から守り、安全で安心な地域社会の実現を目指すため、より強固な防災体制の確立と適確な防災対応業務の推進を図る。

◇道路維持対象施設

道 道（札幌市を除く） 874路線 11,815.9km

○ 道路標識(大型) 10,534基



○ 防雪柵 703km



○ 大型スノーホール 172,994本



○ 道路情報板 635箇所



○ 道路照明 33,852基



○ 気象情報収集装置 81基



○ その他対象施設

- ・ 橋 梁 N = 5,683橋
- ・ トンネル、シェッド等、大型カルバート N = 386箇所
- ・ 門型標識等 N = 196箇所

(令和4年4月1日現在)

◇治水維持対象施設

○ 河川 12,254km(全国の11%)



○ダム 18 箇所



○砂防えん提 1,222箇所



○地すべり対策施設 64箇所



○急傾斜地崩壊防止施設 466箇所



○海岸 2,323km(全国の7%)



○ その他対象施設

- ・ 堰 21基
- ・ 排水機場 21基
- ・ 樋門樋管 5,302基

(令和5年4月1日現在)

予算事業名	公物管理パトロール費 (平成20年度(2008年度)～) 単独
事業の目的	道路法、河川法、海岸法、砂防法、地すべり等防止法及び急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律の適用を受ける公物及び豪雪地帯対策特別措置法第2条の規定により指定された豪雪地帯において、北海道が設置した雪崩防止施設を適正に管理するために行うパトロール業務の実施に伴い必要となる経費。
事業の概要	公共の用に供している道路・河川等の公物が本来の機能を発揮するよう、常時良好な状況を保つために、公物の存する地において巡視、確認、指導、検査等の維持管理業務を委託する経費。
予算額	1,490,357千円(④ 1,490,357千円)
連絡先	主査(維持企画) 【内線29-251】
摘要	土木施設維持管理費

予算事業名	道路維持補修費 単独
事業の目的	道路を常時良好な状態に保持し、利用者の安全と便益を図るため道路の維持修繕を行う。
事業の概要	○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・路面整正、舗装、区画線修繕などの路面管理 ・路面清掃、法面清掃、草刈り、街路樹の剪定などの道路環境の保全 ・排水施設の清掃、路肩決壊の補修、崩土除去、倒木処理などの道路機能の保持 ・橋梁やトンネル、道路附属物(排水施設、標識、照明、防護柵など)の修繕 ・路面清掃車、散水車等の維持用機械の修理、購入及び格納車庫の改築、修繕 ・街路灯の電気料など施設に要する経費
予算額	6,735,395千円(④ 6,421,635千円)
連絡先	道路維持係長 【内線29-273】
摘要	土木施設維持管理費

予算事業名	道路交通安全施設費 単独
事業の目的	交通事故が多発している道路、その他緊急に安全を確保する必要がある道路の交通環境の改善を行う。
事業の概要	○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・自歩車～自転車歩行車道の整備 ・路肩拡幅～路肩を拡幅し防護柵を設置する ・道路照明～夜間型交通事故対策、照明灯具の更新 ・道路標識～道路案内標識等の設置
予算額	2,373,567千円(④ 2,390,150千円)
連絡先	道路維持係長 【内線29-273】
摘要	土木施設維持管理費、道路整備費

予算事業名	道路局部改良費	単独
事業の目的	<p>落石等の危険箇所の解消及び小規模な擁壁整備、側溝整備などを実施する事業。 雪崩や地吹雪、路面凍結の発生により危険が生じたり、自動車交通が不能となる箇所等に防雪施設の設置を行う事業。 凍上や融雪のため交通加重により路盤が破壊されることを防ぐため、路盤の入れ替え、嵩上げ等の路盤改良及び側溝等の排水施設の整備を行う事業。</p>	
事業の概要	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所～落石、土砂崩落を防止するため落石防護柵、防護網等の設置 ・一般局改～局部的な擁壁整備などの実施 ・側溝～道路横断管や側溝の整備 ・簡易路盤～未改良箇所の路盤の整備 	
予算額	3,801,023千円 (④ 3,839,560千円)	
連絡先	道路維持係長 【内線29-273】	
摘要	道路新設改良費	

予算事業名	道路改築費	単独
事業の目的	<p>交通量の多い道道における夏期の流動による舗装のわだち、冬期間の凍結融解による舗装の不陸、これらが引き起こす自動車交通の安全性の低下を改善するため、舗装の修繕を実施する事業。</p>	
事業の概要	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装新設～生活道路として緊急を要する区間の舗装新設 ・構造改良～舗装のオーバーレイ 	
予算額	4,539,667千円 (④ 4,585,370千円)	
連絡先	道路維持係長 【内線29-273】	
摘要	道路新設改良費	

予算事業名	自転車道整備事業費	単独
事業の目的	<p>交通の安全を確保し、あわせて国民の心身の健全な発達に資することを目的として、自転車道の整備を行う事業。</p>	
事業の概要	<p>都市部と公園、リゾート地域等を相互に連絡する広域なネットワークを形成し、自転車交通の安全性、利便性、快適性を確保するとともに、サイクルスポーツの振興を図ることを目的とした事業</p>	
予算額	40,308千円 (④ 40,710千円)	
連絡先	道路維持係長 【内線29-273】	
摘要	道路新設改良費	

予算事業名	みどり豊かな道づくり事業 (平成5年度(1993年度)～) 単独
事業の目的	沿道緑化の推進
事業の概要	沿道環境の向上及び道路利用の快適性を増進するため、街路樹の整備を行い、環境に配慮した道づくりを行う
予算額	40,650千円(④ 41,060千円)
連絡先	道路維持係長【内線29-273】
摘要	道路新設改良費

予算事業名	道路除雪事業費 公共・単独
事業の目的	道道の安全で円滑な冬期道路交通の確保
事業の概要	冬期間における安全で円滑な道路交通の確保のため、降雪毎に新雪除雪を行ったり、次回に備えた拡幅除雪や運搬排雪を実施する。 また、路面整正や凍結防止剤散布を充実したり、快適な歩行者空間の確保のため歩道除雪や流雪溝の維持管理などについても質的向上を図る。
予算額	・公共 12,038,472千円(④ 12,038,472千円) ・投資単独 617,200千円(④ 617,200千円)
連絡先	雪対策係長【内線29-272】
摘要	積雪寒冷対策費 【補助事業名】道路除雪費補助 【補助率】2/3 【交付事業名】防災・安全交付金 【交付率】2/3

予算事業名	道路除雪機械整備費 単独
事業の目的	道道の安全で円滑な冬期道路交通の確保
事業の概要	冬期間における安全で円滑な道路交通の確保のため、各種除雪形態に応じた除雪車の整備を行う。また、除雪車の効率的運用のため除雪ステーションの整備を行う。
予算額	2,130,000千円(④ 1,860,000千円) ※防災・安全交付金を含む。
連絡先	主査(維持企画)【内線29-251】
摘要	積雪寒冷対策費 【交付事業名】防災・安全交付金 【交付率】2/3

予算事業名	道路敷地調査費	単独
事業の目的	道路管理者は管理する道路の台帳を調整し、保管しなければならないため、道路法上の要件を整備し、敷地調査を行い境界を確定することで、道路管理の適正化を図る。	
事業の概要	○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・道路境界調査～境界未確定区間は、道路法に基づく道路区域の決定行為及び供用の開始の告示が行えないため、境界の確定を行う。 ・不用物件調査～現行の測量法の基準を満たしていない道路区域の再調査を行い、市町村道への引継ぎ等の不用物件の処分を行う。 	
予算額	129,800千円 (④ 129,800千円)	
連絡先	道路管理係長 【内線29-265】	
摘要	土木施設維持管理費	

予算事業名	河川環境維持補修費	単独
事業の目的	河川管理施設を適正に維持管理するほか、河川に求められる良好な水辺環境を保持する。	
事業の概要	○治水維持補修費 <ul style="list-style-type: none"> 一級及び二級河川の知事管理区間内で過去に施工された河川管理施設において、次のものを対象とし、適正な維持管理を行う。 ・河川管理施設の小規模な補修 ・河川管理施設の適正な運営・管理 ・河川機能の回復 ・その他河川区域の維持管理 ○樋門操作委託料 <ul style="list-style-type: none"> 洪水時の氾濫防御を目的として行う樋門（管）のゲート操作を地域市町村に委託する。 	
予算額	737,177千円 (④ 656,897千円)	
連絡先	治水維持係長 【内線29-345】	
摘要	土木施設維持管理費（治水維持補修費）	

予算事業名	生きている川づくり推進事業費（河川） （平成8年度（1996年度）～） 単独
事業の目的	「北海道の川づくりビジョン」に基づき、親しみやすい川・水質の改善・ゆとりの確保・子供たちの川づくり・魚道の整備など生きている川づくりを行う。
事業の概要	<p>○親しみやすい川づくり 自然とふれあい、近づくことのできる水辺を創出するため、周辺の景観や地域の整備と調和した川づくりを行う。 ・旧琴似川（札幌市）など2河川で実施</p> <p>○子供たちの川づくり 河川を体験学習の場や遊びの場として利用できるようアクセス施設や植栽、標識の整備などを行う。 ・安平川（安平町）で実施</p> <p>○魚道の整備 魚類の遡上・降下の障害となっている落差工などに魚道を設置する。 ・伊野川（旭川市）など3河川で実施</p>
予算額	116,974千円（④ 118,240千円）
連絡先	治水維持係長【内線29-345】
摘要	河川改良費

予算事業名	排水機場運営費 単独
事業の目的	道が管理する排水機場、防潮水門、救急内水、小規模排水機場の維持運営を行う。
事業の概要	排水機場、防潮水門、救急内水、小規模排水機場における電気料金、燃料代及び設備点検等に係る経費。
予算額	69,510千円（④ 71,660千円）
連絡先	治水維持係長【内線29-345】
摘要	土木施設維持管理費

予算事業名	河川等情報システム運営費	単独
事業の目的	河川管理及び住民への河川情報を提供するために運用する河川等情報システムの維持運営を行う。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○河川等情報システム 水位・雨量観測データの伝送等に係る通信費及び、水位・雨量観測局及び監視局における電気料金及び点検等に係る経費。 ○危機管理型水位計 洪水時に特化した水位計による観測及び、携帯電話回線による伝送に係る通信費及び点検に係る経費。 ○簡易型河川監視カメラ 水位情報と合わせて現地画像撮影及び携帯電話回線による伝送に係る通信費。 	
予算額	220,391千円 (④ 227,207千円)	
連絡先	治水維持係長 【内線29-345】	
摘要	土木施設維持管理費	

予算事業名	河川改良費（特対）	単独
事業の目的	公共補助事業（交付金）で採択にならない小規模な河川工事を行う。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時河川等整備事業～河川管理施設に関する工事 地域河川改良として計画的な改修工事 ・緊急浚渫推進事業～個別計画に緊急的に実施する必要がある箇所として位置づけた河川に係る浚渫工事（土砂等の除去・処分、樹木伐採等） 	
予算額	7,345,401千円 (④ 7,099,810千円)	
連絡先	治水維持係長 【内線29-345】	
摘要	河川改良費	

予算事業名	水と緑の環境回復事業費	(平成5年度(1993年度)～) 単独
事業の目的	河川区域を良好な状態に維持することにより適正な施設管理を行うとともに、河川の持つ水と緑のオープンスペースの確保や、草の繁茂による病害虫の発生等の周辺環境の悪化を防止するなど地域住民の要望を考慮した河川の環境管理を行う。	
事業の概要	<p>適正な河川管理を行うための除草や環境施設の機能回復など、河川区域における必要な環境の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・除草、環境施設の機能回復、ダム周辺環境の保持、その他河川区域の環境管理 	
予算額	851,256千円 (④ 861,256千円)	
連絡先	治水維持係長 【内線29-345】	
摘要	土木施設維持管理費（治水維持補修費）	

予算事業名	ダム管理費 (昭和46年度(1971年度)～) 単独
事業の目的	現在管理中のダムが持つ機能を適切に発揮できるよう維持管理を行う。
事業の概要	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常時～ダム、貯水池の点検観測、小修繕等 ・緊急時～洪水時地震時のダム、貯水池点検、ゲート操作等 <p>○実施箇所(管理ダム数～18)</p> <p>*有明、*様似、*矢別、美唄、高見、佐幌、新中野、愛別、小平、朝里、栗山、浦河 上ノ国、庶路、西岡、当別、徳富、厚幌 (注) *はゲート有りダム</p>
予算額	417,068千円(④ 416,931千円)
連絡先	主査(治水調整) 【内線29-346】
摘要	土木施設維持管理費 【関連事業】大規模な施設の修繕・更新に対しては、個別補助事業である「ダムメンテナンス事業」により実施。

予算事業名	ダム建設事業費 旧堰堤改良事業 (昭和50年度(1975年度)～) 公共
事業の目的	インフラ長寿命化計画において、予防保全によるライフサイクルコストの縮減・平準化を図り、効率的かつ持続可能なメンテナンスサイクルを実現するため、修繕・更新を行う。また、放流設備の抜本的改良や貯水池への土砂堆積が進行し、洪水調節容量が減少したダムの堆砂対策などを行う。
事業の概要	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム本体、放流設備、関連設備の長寿命化計画に基づく老朽化対策 ・ダム洪水吐きのゲートレス化 ・貯水池内の土砂堆積堆砂による洪水調節機能が低下したダムの堆砂対策など <p>○実施箇所</p> <p>有明ダム、様似ダム、矢別ダム、美唄ダム、高見ダム、佐幌ダム、新中野ダム、愛別ダム、小平ダム、朝里ダム、栗山ダム、浦河ダム、上ノ国ダム、庶路ダム、西岡ダム、当別ダム (計16カ所)</p>
予算額	401,696千円(④ 444,395千円)
連絡先	主査(治水調整) 【内線29-346】
摘要	<p>ダム建設費</p> <p>【事業名】 ダムメンテナンス事業 (R4から個別補助事業)</p> <p>【交付率】 施設改良事業 5.5/10 堰堤改良事業 4/10 ダム再生計画の策定 1/2</p> <p>【関連事業】 小規模な修繕は、ダム管理費で対応。</p>

予算事業名	河川区域調査費	単独
事業の目的	北海道が管理する河川の官民界、河川管理施設の現況及び河川の使用の許可状況等を明確にすることにより、不法行為や境界紛争などに対処し、河川管理を円滑かつ適正に行うための調査。	
事業の概要	○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・河川区域確定調査～官民境界紛争、河川敷地の不法占用、不法行為などに対処するため河川敷地界を明確にする調査 ・河川現況台帳整備～二級河川区域内の土地の権利関係、河川管理施設の現況及び河川の使用許可の状況等を調査及び既存台帳図の補正 ・河川敷地用途廃止調査～河川工事の完了により不要となった河川敷地の用途を廃止するための調査 	
予算額	41,600千円 (④ 41,600千円)	
連絡先	河川管理係長 【内線29-318】	
摘要	土木施設維持管理費	

予算事業名	砂防事業費（特対）	(昭和52年度（1977年度）～)	単独
事業の目的	荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命、財産を守る。		
事業の概要	多量の土砂を下流に流送している溪流又は流下するおそれのある溪流に対して、砂防えん堤、床固工等の砂防設備の整備を行うとともに、砂防えん堤、河床に堆積した土砂等の排除を行う。 ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時河川等整備事業～砂防施設に関する工事 (砂防施設 砂防えん堤工、床固工、溪流保全工等) ・緊急浚渫推進事業～個別計画に緊急的に実施する必要がある箇所として位置づけた砂防施設に係る浚渫工事（土砂等の除去・処分、樹木伐採等） 		
予算額	624,189千円 (④ 661,900千円)		
連絡先	主査（治水調整） 【内線29-346】		
摘要	砂防費		

予算事業名	生きている川づくり推進事業費（砂防） （平成4年度（1992年度）～） 単独
事業の目的	魚の遡上の妨げになっている既設の砂防えん堤等に積極的に魚道工を設置することにより自然環境、生態系の回復を図り、本道の優れた自然を保全する。
事業の概要	<p>○実施内容 地元住民、水産関係者等からの聞き取り調査、魚類、河道状況、河畔林、植生等の現地調査を行い、当該河川に適合した魚道工の総合的な計画の立案を行い、魚道工の新設・改良及び出水口付近の瀬・淵の形成等を行う。</p> <p>○対象施設 ・保護水面、資源保護水面に指定されている河川で、魚道工が設置されていない砂防施設 ・サケの捕獲及び放流をしている河川で、魚道工が設置されていない砂防施設 ・その他、地元住民、水産関係者などの意見を聴き、地域として強い要望のある河川で、魚道工が設置されていない砂防施設</p> <p>○実施箇所（予定）～3箇所</p>
予算額	67,500千円（④ 0千円）
連絡先	主査（治水調整）【内線29-346】
摘要	砂防費

予算事業名	地すべり対策費 （昭和32年度（1957年度）～） 単独
事業の目的	地すべりによる土砂災害から人家・耕地・公共施設等を保全し、地域の安全を確保する。
事業の概要	<p>地すべり防止区域内において、河川、道路及び人家、農地等に被害を及ぼすおそれのある箇所について、地すべりを防止するための事業。</p> <p>○実施内容 ・地下水排除工（集水井・集水ボーリング工）等の地すべり防止施設の整備</p> <p>○実施箇所（予定）～5箇所</p>
予算額	48,920千円（④ 78,550千円）
連絡先	主査（治水調整）【内線29-346】
摘要	砂防費 【単独事業】公共採択にならない地すべり対策施設に関する工事(既存施設のうち、小規模なため公共で再開できない水路工、ボーリング工等の対策工事)

予算事業名	急傾斜地崩壊防止事業費 (昭和42年度(1967年度)～) 単独									
事業の目的	急傾斜地の崩壊による土砂災害から人命を保護する。									
事業の概要	急傾斜地崩壊危険区域内において、人命、財産に危害を及ぼすおそれのある箇所について急傾斜面の安定を図るための自然災害防止事業など。 ○実施内容 ・土留柵工や法面工等の崩壊防止施設の整備 ○採択基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>崩壊地の形状</td> <td>傾斜度</td> <td>30度以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ</td> <td>5m以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保全人家</td> <td>5戸以上</td> </tr> </table>	崩壊地の形状	傾斜度	30度以上		高さ	5m以上		保全人家	5戸以上
崩壊地の形状	傾斜度	30度以上								
	高さ	5m以上								
	保全人家	5戸以上								
予算額	374,000千円(④ 386,250千円)									
連絡先	主査(治水調整) 【内線29-346】									
摘要	砂防費									

予算事業名	砂防施設維持補修費 (昭和38年度(1963年度～) 単独
事業の目的	砂防、地すべり、急傾斜地等の各施設において、既存施設の補修及び維持管理を行うことにより機能回復・維持を図り、災害の発生を未然に防止する。
事業の概要	砂防、地すべり、急傾斜地等の補修及び維持管理を行う。 ○実施内容 ・施設補修～法面工、防護柵、護岸工、堤体工、排水工の補修 ・維持管理～標識設置、法面除草、堆積物・崩土・流木除去、管理用道路維持、排水溝清掃 ・保守点検～土石流監視装置、各種観測機器の保守点検
予算額	149,597千円(④ 142,575千円)
連絡先	主査(治水調整) 【内線29-346】
摘要	土木施設維持管理費(治水維持補修費)

予算事業名	海岸維持補修費 (昭和39年度(1964年度～) 単独
事業の目的	海岸保全施設の補修及び維持管理を行うことにより機能回復・維持を図り、災害の発生を未然に防止する。
事業の概要	海岸保全施設の補修及び維持管理を行う。 ○実施内容 ・施設補修～護岸、突堤、離岸堤、消波工、斜路の補修 ・維持管理～標識設置、飛砂・流木除去、排水溝清掃 ・保守点検～海象観測機器、安全情報伝達施設及び付帯施設(角落等)の保守点検
予算額	202,218千円(④ 193,280千円)
連絡先	主査(治水調整) 【内線29-346】 主査(砂防・海岸管理) 【内線29-412】
摘要	土木施設維持管理費(治水維持補修費)

予算事業名	海辺のふれあい事業 (平成2年度(1990年度)～) 単独
事業の目的	増大する海洋レクリエーションのニーズに応えるため、身近で開放的な自然空間である海岸の環境整備を図り、海岸利用の促進、アクセスの向上に資する。
事業の概要	海水浴等で特に利用度の高い海岸で、地域住民の要望に応えるため、階段、遊歩道、緑地帯等の施設の充実を図り、海岸域が一体となった安全で快適なレクリエーションの場を創出する。 ○採択基準 ・既設護岸・堤防により、海とのアクセスが困難な海岸 ・背後地の形状等により、海とのアクセスが困難な海岸 ・海岸の利用形態等により、景観・修景に配慮が必要な海岸 ○実施箇所(予定)～1海岸
予算額	2,000千円(④ 2,000千円)
連絡先	主査(治水調整) 【内線29-346】
摘要	土木施設維持管理費(治水維持補修費)

予算事業名	海岸保全区域測量費 (昭和39年度(1964年度)～) 単独
事業の目的	海岸管理に必要な海岸保全区域及び一般公共海岸区域の区域測量を行う。
事業の概要	○実施内容 ・計画実施分～図面の未整備の海岸保全区域及び一般公共海岸区域について順次整備 ・事業関連分～海岸保全施設の設置計画により、海岸保全区域の指定などを行う必要がある箇所について整備
予算額	27,500千円(④ 27,500千円)
連絡先	主査(砂防・海岸管理) 【内線29-412】
摘要	土木施設維持管理費

予算事業名	海浜地保全調査費 (平成12年度(2000年度)～) 単独
事業の目的	概ね10万人を超える中核都市近郊の主要海水浴場で著しい侵食実態があり、緊急的に対策を必要としている海岸の実態調査を行う。
事業の概要	○実施内容 ・砂浜保全のための漂砂調査及び地形変化調査 ・安全な利用検討のため、必要最小限の波浪、流況、底質調査 ○採択基準 ・年間平均利用者10万人を超える中核都市近郊の主要海水浴場 ・且つ、侵食実態が著しく緊急的に対策を必要としている海岸
予算額	1,000千円(④ 1,000千円)
連絡先	主査(治水調整) 【内線29-346】
摘要	土木施設維持管理費